ノートルダム清心女子大学

English Education Center

英語教育センター

What is EEC ?

英語教育センターってどんなところ？

学部・学科を越えて英語学習に励む全学生をサポート

英語教育センターは、全学生の英語学習を支援するための教育機関です。グローバル化の進展とともに、実践的な英語の運用能力が求められる社会に対応すべく、英語を道具として使いこなし、専門分野で活躍できる人材の育成を行っています。

「聞く」「話す」「読む」「書く」という4技能からなる総合的な英語力の向上を目指し、英語によるコミュニケーション能力を高めると同時に、英語圏の文化や習慣についての知識も深めます。

また、英語を通じての情報収集や伝達方法を学び、それを専門分野の研究に生かすことを目標としています。世界の多様性を理解し、受容精神を養い、学生の自学自習の促進のために、英語学習環境の整備も行っています。

1・2年生の外国語必修科目とは？

文学部

英語英文学科

学科科目と第２外国語（フランス語またはドイツ語）を選択履修します。詳細は英語英文学科にお問い合わせください。

日本語日本文学科・現代社会学科

英語 IB・ⅡB の 2 単位は必修で、英語 IA・ⅡA・ⅢA・ⅢB・ⅣA・ⅣB、 フランス語、ドイツ語、中国語の中からさらに６単位を選択履修します。

人間生活学部

人間生活学科・児童学科・食品栄養学科

英語 IA・ⅡA、英語 IB・ⅡB、英語ⅢA・ⅣA、英語ⅢB・ⅣB の８単位が必修です。さらに食品栄養学科は、3・4年生の英語ⅤB・ⅥB・ⅦB も必修です。人間生活学部では、専攻科目以外、最も授業回数が多い科目は英語です。毎週２回授業があり、２年間で 128 回（（1科目通年 32 回×2科目）×2年間）の授業を履修します。

英語教育センターの特長

1 一貫性のある充実したカリキュラムで英語を学べる

教職経験豊かな日本人教職員及びネイティブ教員の授業があり、英語の基礎力を高め、コミュニケーション能力を伸ばしていきます。

2 授業でTOEICトレーニングを利用し外部指標として学習の目安を提示

学年の終わりにTOEIC L&R Testを受験し、授業で行ったＴＯＥＩＣの練習成果を測ります。高得点が上げられれば、就職活動の際にも有利です。

3 用途に合わせた施設や設備で幅広い学習支援を提供

第１・２ＣＡＬＬ教室での授業をはじめ、授業以外でもセルフスタディ・ルームや英語学習相談室、English Lounge、CALL ER Reading Room、多目的室など学科・学年を問わず全ての学生が自由に利用し、英語学習に励むことができます。

4 自分の目的に合った科目を選択できる

英語に対して強い興味を持っている学生や、もっと英語を勉強したいという学生のために、各学科で必修の外国語科目に加えて、学科・学年を問わず全ての学生が自由に選択履修できるクラスがたくさんあります。毎年夏に実施されるカナダのビクトリア大学English Language Center短期研修（約３週間：全学生対象）も単位として認定されます。

選択科目一覧

＊TOEIC Intermediate＊Preparation for TOEFL＊音読トレーニング
＊海外英語演習Ａ（ビクトリア大学短期研修）

夏季海外英語研修参加者	
2021年度	9名(英文7名、現社1名、児童1名) ※オンライン実施
2022年度	9名(英文6名、人間1名、児童2名) ※オンライン実施

5 英語学習に関する様々な相談に対応

附属図書館３階に設置している英語学習相談室では、学科・学年を問わず全ての学生が、英語学習の悩みについて個別に相談したり、スキルアップのために個別に指導を受けたりすることが出来ます。相談形式は、対面とオンラインで選択でき、学生の希望に合わせて柔軟に対応できるようになっています。相談の予約から個別指導まで、英語教育センター専任教員（英語英文学科とは別組織の英語教育に関する専門家教員）とスタッフが丁寧に対応します。

授業紹介*

英語A

「英語A」は英語を母国語とする教員（Native Speaker）が担当する科目です。少人数のクラスで、2年間に渡って担当教員、クラスメイトと一緒に実用的な英語を使ってコミュニケーション能力を向上させることが目的です。

英語IA・IIA
1年次

中学や高校で学んだ英語を実際のコミュニケーションのために使えるようにします。コミュニケーションを中心に4技能（話す・聞く・読む・書く）を活かし、事前に学んだ英語を活用して、学生に英語コミュニケーション活動に対する自信を付け、能力を伸ばすことが目的です。

英語IIIA・IVA
2年次

各学科のニーズや目的、要望に基づいた学科別のカリキュラムを実施しています。専攻科目と補完的な内容で、専攻に結びついた英語を学習します。

コース内容例

日本語日本文学科	英語と日本語のコミュニケーションを比較する、英語圏の名作を読む、色々なテーマに基づいた本やショートストーリーについてディスカッション活動をする等
現代社会学科	現代の世界に関する色々なトピック（国々の文化や歴史又は有名人）について聞いたり 読んだりする等
人間生活学科	English as a Lingua Franca（共通語としての英語）を用いてカリキュラムに合わせた幅広いトピックを探求する、英語で様々な話題について調査して、結果を発表する等
児童学科	Classroom English を使い、英語で子供（園児から小学生まで）に英語を教える方法、 英語による読み聞かせ、英語で子供に向けて英語の模擬レッスンをする等
食品栄養学科	料理の語彙、英語でクラスメイトと食生活を比較する、英語で食事管理のアドバイスをする、アメリカと日本の給食を比較する等

多読：Extensive Reading

多読は英語Aで重要な位置を占めるタスクとなっています。多読とは英語学習者が自分にとって様々なジャンルの易しい英語の本を困難なく読むことで、速読力を付けるようにすることです。多量のインプットにより英語の知識や流暢さが増し、自分でも知らないうちに英語力が上がります。1年目には、多様な内容の読み物に出会える機会があります。2 年目には、学科専攻に関連した読み物が導入されています。

*英語英文学科の学科科目を除く

英語B

「英語 B」は日本人教員が指導する演習科目です。英語ⅠBから英語ⅧBまであり、受講する学生や期間により授業名称は異なりますが、高等学校で学んだことを基礎として「英語A」と併せて4技能をバランスよく身に付けることを目標としています。

何を学ぶのか

「英語 B」では、文法規則などに関する知識を技能として使える段階に留めるのではなく、習得した知識や技能を目的や状況に合わせて適切に使う言語使用者の育成を目指しています。つまり、「英語 B」は「英語 A」と有機的な関連を持った科目だと言うことができます。

クラス編成

1年次に履修する英語ⅠB・ⅡBについては、学籍番号順でクラスが編成され、2～4年次に履修する英語ⅢB～ⅧBについては、授業の一環として受験するTOEICの試験結果に基づいて学科ごとにクラスを編成します。習熟度別クラス編成はしませんが、受験結果を参考に各クラスの英語力が均一となるように編成します。これは、指導者を含めクラス内の全ての人がお互いに関わり合い、対話的に学び、お互いの価値を認め合う学習環境を保障するためのものです。そのため、1クラスは25人程度の少人数で構成され、さまざまな言語活動が可能なサイズとなっています。

授業の編成

英語 Bでは、1コマ(90 分)の授業を 2 分割して行います。授業で使用するテキストのうち、45 分間は聞くことが中心の活動を CALL 教室で行い、残りの 45 分間は読むことが中心の活動を行います。ただし、教科書の内容理解だけが目標ではなく、聞くことや読むことに関する汎用的な技能を身に付けることを重視しています。インターネットを利用した学習教材（e-learning)も組み込んで進めていきます。

英語力の測定：TOEIC

英語教育センターでは、授業で身に付いた英語力を測る手段として TOEIC を外部指標として位置付けています。各学年で年 1 回の受験を義務付けており、学習成果の測定を実施しています。就職活動の際にもTOEICのスコアは大変有利です。得点を上げられるよう頑張りましょう。

幅広い学習支援

全学生の英語学習をサポートする環境設備をご紹介します！

英語学習相談室

英語学習相談室では、英語学習に関する悩みや不安を英語教育センターの教員に相談することができます。英語を勉強したいけれど具体的な方法が分からない、留学前に英会話の練習をしておきたい、TOEICや英検などのスコアをもっと伸ばしたいなど悩みがあれば気軽に利用できます。相談は予約制となっており、教員があなたの悩みに親身になって応えてくれます。

セルフスタディ・ルーム１

全学生がいつでも利用できる自学自習室で、ゆっくりくつろいで本を読むことができるスペースや、友人と一緒に学習に取り組める空間になっています。また、英語・第二外国語学習に役立つ書籍の他に、バイリンガル版の漫画を借りて読むことができます。

セルフスタディ・ルーム２

全学生がいつでも利用できる自学自習室で、静かな環境で集中して英語学習やリスニング練習に励むことができます。TOEICや英検、TOEFLなど資格試験の問題集が置いてあります。また、パソコンを使ってDVDの視聴も可能です。

語学学習コーナー

授業時間以外にも英語のスキルを磨きたい学生のための図書館１階の語学学習コーナーです。職業英語から文法、英会話、留学、接客、SNSなど様々な英語に関する学習本や実用書、また2500冊以上のレベル別に色分けされた多読用の本が置いてあり，適正なレベルの本をすぐに見つけられます。他にも中国語、フランス語、ドイツ語の本もあります。

English Lounge

ジュリーホール１階のラウンジ内に設置されていて、授業以外に気軽に英語に触れることができる場所です。全学生がいつでも利用でき、英語の新聞や雑誌を自由に読むことができます。また、ラウンジに設置しているパソコンを使って外国語を学習することができます。

多目的室・English Writing Center

各学科の模擬授業や、グループ学習、プレゼンテーション練習など、さまざまな用途で利用することができます。マルチメディア設備が整っており、グループ学習に適した台形テーブルやホワイトボード、パソコンなども自由に使用できます。この部屋は、学科や課程を問わず大人数や複数のグループも同時に利用できます。予約制ですが、当日利用も可能です。

CALL ER Reading Room

静かで落ち着いた雰囲気の中、英語の読書に集中することができる多読専用の部屋です。リラックスしながら読書を楽しむことができる椅子やソファーがあります。多読用の本はもちろん、パソコンも完備しており、専用のタブレット端末には電子書籍をインストールしています。電子機器も自由に利用できます。

英語教育センターポータル

ぜひチェックしてみてね！

ノートルダム清心女子大学 英語教育センター

〒700-8516 岡山市北区伊福町2-16-9

086-252-3439(3459) / 086-252-7121